



農業体験の支援と理解促進

命の大切さや農業の必要性を理解してもらおうと、JAでは子どもたちに農業体験の場を提供したり、学習の支援を行っています。

JAの学童農園には、毎年多くの幼稚園や保育園の園児を受け入れ、野菜の植え付けや収穫を体験してもらっています。昨年初めて開講した6カ月間にわたる親子の農業教室「おやこ・で・あぐりすくーる」も大好評でした。

このほか小中学校の「総合的な学習の時間」でJA職員が農業講師を務めたり、2月に開講したばかりの「農業塾」では、地域の方々に農業に対する理解促進と技術指導も行っています。

命の大切さ

心身の健康

自然とのふれあい

正しい食生活

安全・安心な農産物

しょくのう きょういく

JAの食農教育

「食育」はよく耳にする言葉ですが、「食農教育」ってなんでしょうか？これは、人が生きていくうえで不可欠な「食」と、農産物を生み出す「農業」が密接に関係していることを理解してもらうため、JAが取り組んでいる活動です。近年、食の欧米化や安い輸入農産物の増加によって、食料自給率の低下や食の安全・安心が懸念されるなか、JAは子どもたちや地域の方々に食と農業の大切さを伝える取り組みを幅広く行っています。



地産地消の推進

JAは管内に農産物直売所やAコープ内に地場産コーナーを設置し、地元で採れた農産物を地元で食べる「地産地消」を推進しています。

直売所は、安全・安心、新鮮な地場産農産物の販売はもちろんですが、「生産者の顔が見えるお店」として、生産者と消費者との交流の場でもあります。旬の農産物によって季節を実感してもらいたいと思います。



都市と農村の交流

グリーンツーリズムの一環として、都会の学校から修学旅行や教育旅行を受け入れ、紀南の特産物に触れてもらう機会を提供しています。行政や関係機関とタイアップした梅やミカンの収穫、梅の加工、紀州備長炭の窯だしなどの体験がメインです。

5月下旬から6月いっぱいまでは、梅もぎ体験ツアーを企画して観光客や消費者を受け入れています。昨年はバス68台、2512人が紀南に訪れました。



学校給食への食材供給

子どもたちに安全な地元の農産物を食べてもらおうと、JAは生産者、給食センターと連携しながら学校給食への食材供給を行っています。

さらに、地域の特産物に親しみを持ってもらうことを目的に、JAでは毎年管内の小中学校に梅干しとミカンを提供しています。



食文化の伝承と食生活の改善

JAの女性会が、地元食材を使った料理や郷土料理を地域の方々に披露する「クッキングフェスタ」を毎年開いています。レシピの作成だけでなく、日本型食生活の重要性や食事の栄養バランスの大切さを認識してもらうことが目的です。

また、各地域で子どもや親子を対象にした料理教室も随時開いており、自分で作る楽しさや喜びを実感してもらっています。

JAバンク みんなでしよら! 年金予約

期間中、「JAに年金お受取りのご予約をいただいた方」「JAに年金受給のご予約をご紹介いただいた方」の中から抽選で「選べるギフトカタログ」をプレゼント!!

気になるアイテム450点掲載!!

県内合計 800名様

くわしくは最寄りのJA窓口、または渉外担当者におたずねください。年金のお受取り手続き等もJAがお手伝いさせていただきます。

募集期間
平成24年
4月2日
平成25年
3月29日

セカンドライフを
応援します。
年金相談受付中!

JAバンク 和歌山
JA紀南
金融課 TEL.0739-23-3516

子育て応援
定期貯金 **すくすく**
店頭表示金利 + 年 **0.2%** × 18歳以下のお子様の人数

- 対象 18歳以下のお子様を養育されている方(同一世帯) ※お申込時に健康保険証等で確認させていただきます。
- 募集商品 スーパー定期貯金(期間1年)
- お預け入れ金額 10万円以上300万円以下 (一世帯あたり300万円を上限といたします)
- 金利 店頭表示金利に年0.2%×18歳以下のお子様の人数を上乗せ

※店頭に説明書をご用意しております。

くわしくは最寄りのJA窓口、または渉外担当者におたずねください。 JAバンク和歌山

子育て応援
定期積金 **わんぱく**
店頭表示金利 + 年 **0.2%**

- 対象 18歳以下のお子様を養育されている方(同一世帯) ※お申込時に健康保険証等で確認させていただきます。
- 募集商品 定期積金(期間1年以上)
- ご契約額 10万円以上
- 金利 店頭表示金利に年0.2%を上乗せ